



AGEphone Business 3 for Windows 8.1/10

操作マニュアル

Ver 1.6.2.33 2023/5/12 株式会社 ageet

ageet
ageet.com

目次

1. はじめに	2	5.5 通話をする	18
1.1 AGEphone Business 3とは	2	5.6 発信のキャンセル	18
1.2 AGEphone Business 3の主な機能	2	5.7 通話を切断する	18
快適な操作性	2	5.8 通話を保留する	18
広範囲の互換性	2	5.9 通話を転送する	19
通話録音機能	2	5.10 音量を調節する	19
広帯域コーデックに対応	2	5.11 ショートカット登録	19
ソフトウェアエコーキャンセリング	2	5.12 アプリケーションを最小化する	19
2. 設定順序	2	5.13 アプリケーションを終了する	19
2.1 サービスを用意する	2	5.14 通話履歴	20
2.2 簡易設定(初回起動画面)	4	通話履歴の格納場所	20
2.3 設定画面	4	外部アプリ例-SQLite Database Browser	20
2.4 アカウント設定	4	6. アドレス帳	20
2.5 全般設定	7	6.1 各部名称	20
ネットワーク設定	7	7. アドレス帳(ローカル)	21
STUNサーバのリスト	7	7.1 メニューバー	21
SIP設定	9	7.2 ツールバー	24
メディア設定	9	7.3 アドレス帳の追加	24
一般設定	11	7.4 アドレス帳の編集	25
ショートカット設定	11	7.5 アドレス帳のエクスポート	25
2.6 アクションURL	12	7.6 アドレス帳のインポート	25
アクションURLの応用例	12	7.7 フィルター表示	25
3. ディザスタリカバリ機能	13	7.8 表示データのソート	26
3.1 機能説明	13	7.9 検索	27
3.2 DR機能有効時	13	7.10 データ復旧方法	27
4. URLプロトコル連携	14	8. アドレス帳(+電話帳)	27
4.1 機能説明	14	8.1 +電話帳について	28
4.2 関連付けの設定	14	8.2 ログイン操作	28
5. 操作方法	14	8.3 メニューバー	28
5.1 ポップアップメニュー	15	8.4 ツールバー	31
待ち受け状態	17	8.5 連絡先の追加	31
通話録音	17	8.6 連絡先の編集	32
拡大	18	8.7 フィルター表示	32
ツール	18	8.8 表示データのソート	32
5.2 SIPサーバへの登録	18	8.9 検索	33
5.3 着信時	18	9. その他	34
5.4 発信時	18	9.1 制限事項	34
		9.2 AGEphone Business 3の利用停止方法	34

9.3 別のパソコンへの移行	34
9.4 QoS設定	35
10. お問い合わせ先	36

1. はじめに

1.1 AGEphone Business 3とは

AGEphone Businessはビジネス用途としてIP電話をソフトウェアで実現したソフトフォン(IP電話ソフトウェア)です。ビジネスシーンで利用されるユーザーのために開発されたAGEphone Business 3を利用する事で、お持ちの内線電話が利用可能になります。

1.2 AGEphone Business 3の主な機能

快適な操作性

キーボード、マウスどちらか一方だけの操作でも目的の相手先に軽快な動きで接続することができます。例えば2文字以上の番号入力で該当する電話番号をアドレス帳から、よく電話する頻度順に並べ替え上位10名分の候補を瞬時に表示します。

また通話履歴もカーソルキーの操作だけで、直近の発信履歴、着信履歴を瞬時にポップアップ表示します。

広範囲の互換性

多彩なパラメータチューニングによる広範囲の互換性があります。ベースのエンジンには「スマホdeひかり電話」などで実績のあるSipManagerの最新エンジンが使用されています。

設定画面では、アカウントごとの設定や、全体の設定では音声品質に関連する様々な設定が細やかに行えます。また、トランスポートにはUDPだけでなく、TCPやTLSもサポートしていますので、セキュアな環境でのIP電話が実現出来ます。

通話録音機能

通話ごとに通話の内容を録音することができます。録音されたファイルはPCのストレージに保存されます。1分間通話した場合おおよそ1.8MBのストレージ容量を消費します。

広帯域コーデックに対応

通常の固定電話で用いられる8KHz帯の音声コーデックはもちろんのこと、次世代の広帯域コーデック(16KHz帯)の音声コーデックを複数搭載(Speex 16000/SILK 16000/G722等)しています。

ソフトウェアエコーキャンセリング

ソフトウェアによるエコーキャンセリングの有効無効を設定できます。エコーキャンセリングとは、スピーカーから出力された音声は、そのままマイクの入力に回りこんで通話相手にエコー(やまびこ)のように聞こえることを防ぐ機能です。

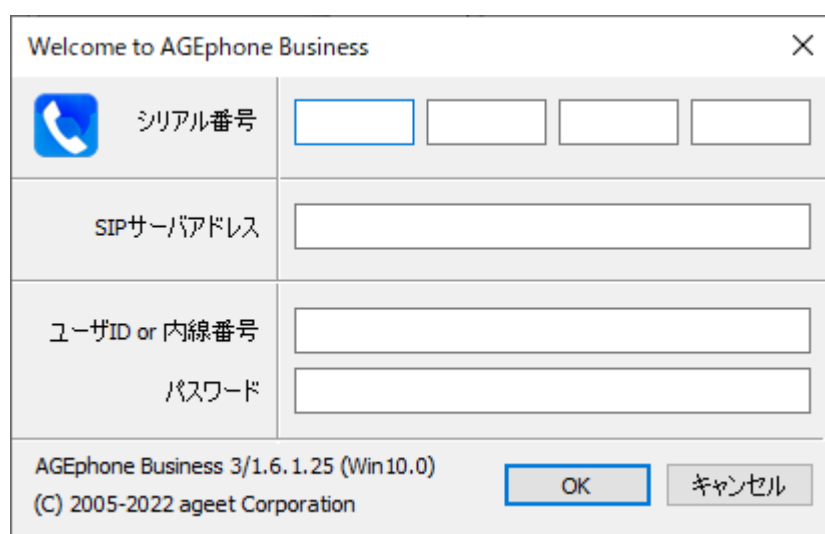
2. 設定順序

2.1 サービスを用意する

通話を行うにはIP電話サービスが必要です。IP電話サービスにもメールアドレスのようなSIPアドレスと呼ばれるものがあり、これをAGEphone Business 3にあらかじめ設定しておきます。
また、オープンソースのIP-PBXであるアスタリスクサーバやOpenSIPS、FreeSWITCH、そしてBrekeke PBX等と連携することで内線IP電話としてご利用いただくことも可能です。

(NTTのフレッツひかり電話のホームゲートウェイの特定機種において動作確認をいたしました。)

2.2 簡易設定(初回起動画面)



シンプルな設定で利用したい。複雑な設定を必要としないサーバをご利用のお客様はこの簡易設定より設定を行っていただく事が可能です。
シリアル番号(ライセンス番号)は、購入時に発行される16文字の鍵となっております。この値を間違ってしまうと、正しく動作することができませんのでご注意ください。

SIPサーバアドレスにはSIPサーバのIPアドレスもしくはドメイン名を記入します。

ユーザID or 内線番号には自分のSIPアカウントのIDもしくは電話番号を記入します。

パスワードには、SIPアカウントのパスワードを記入します。大文字小文字の区別や、半角入力になっているかなどご注意ください。

ライセンスの移行に伴い、JSONファイルをお持ちの方は、この画面にてJSONファイルをドラッグ&ドロップすることで簡単に設定を読み込ませることができます。詳しくは、[JSONファイルのドラッグ&ドロップ](#)をご参照ください。

2.3 設定画面

AGEphone Businessのダイヤル画面、上部のボタンをクリックすることで設定画面が開きます。

設定は、簡易設定として初回起動画面でも行えますが、細かい設定を行なっていただくときは、設定ボタンを押し

て詳細設定を行うことができます。

2.4 アカウント設定

アカウント設定

アカウント一覧

123@192.123.456.789

サーバ情報

SIPドメイン 192.123.456.789

SIP Proxy 192.123.456.789

SIPレジストラ 192.123.456.789

バックアップのサーバ

サーバオプション

レジスター間隔 3600

セッション間隔 300

キープアライブ間隔 15

☐ ペー징

ダイヤルオプション

外線と判断する桁数 None

付加する番号

ユーザ情報

ユーザID 123

表示名 123

認証ID 123

パスワード ●●●●

接続種別 UDP

保留の種類 RFC 3264

プライバシー Not Used

Contact値の置換 GLOBAL

☐ コンタクト値を難読化

新規 削除 規定 規定 全般設定 アドレス帳 OK キャンセル

サーバ情報設定

SIPドメイン	192.123.456.789
SIPプロキシ	192.123.456.789
SIPレジストラ	192.123.456.789
バックアップのサーバ	

SIPドメインおよび**SIPプロキシ**入力項目には、SIPサーバのアドレスを指定します。IPアドレスを直接入力することもできます。

SIPレジストラはサービス事業者から指定を受けていない場合は、SIPドメインと同じアドレスになります。バックアップのサーバをクリックすると、バックアップサーバ入力欄が表示されます。入力項目には、サーバ情報設定欄と同様にSIPサーバのアドレスを指定します。IPアドレスを直接入力することもできます。

バックアップのサーバ

SIPドメイン example.ageet.com

SIPプロキシ example.ageet.com

SIPレジストラ example.ageet.com

OK キャンセル

ユーザ情報設定

ユーザID	123
表示名	123
認証ID	123
パスワード	●●●

ご利用のサービス業者によって、提供されるアカウント情報の記述が多様であるため、ここでは特定のサービスを取り上げた形での記述はしていませんが、ご参考までに記述例を以下に記載します。

AGEphone Business 3	他社記述例
ユーザID	VoIP電話番号 DID 電話番号
表示名	同上
認証ID	VoIPユーザID ユーザ名
パスワード	VoIPユーザパスワード 認証パスワード

ユーザIDは社内で利用している内線番号を入力します。また、050番号を使った発着信を行いたい場合は、050ではじまる番号を入力します。(この時'-'ハイフンは省略してください)050番号を使わない場合は任意の文字列を入力出来ます。

表示名は省略可能ですが、通常はユーザIDと同じ番号を入力します。

認証IDとは、SIPアドレス内に含まれているユーザIDとは別に、サーバを利用するために認証を行うときのIDになります。希にサービス事業者により、ユーザIDと認証IDが同じ時もあります。省略する事も可能です。

パスワードは通常認証IDと対(ペア)になっています。

サーバオプション設定

レジスター間隔	3600	接続種別	UDP
セッション間隔	300	保留の種類	RFC 3264
キープアライブ間隔	15	プライバシー	Not Used
☐ ページング		Contact値の置換	GLOBAL
		☐ コンタクト値を難読化	

レジスター間隔およびセッション間隔は通常、規定値で問題ありませんが、ご利用中のサービス業者様より指定の値が存在する場合はその内容を反映させて下さい。

ページングは、有効にする事で、着信時のパケットの中のCallInfoヘッダーにanswer-after=0が含まれる着信が届いた場合に自動応答(通話開始)します。

キープアライブ間隔は、STUNを使いNAT越えを行う設定が有効な時に、ここで設定したKeep-Alive パケットの送出間隔でSTUNサーバにキープアライブを送出します。

保留形式はRFC2543(旧形式)、RFC 3264、Streamingの中から設定が行えます。利用中のサービスが旧式の保留シーケンスを利用している場合はここでRFC2543(旧形式)を選択して下さい。

接続種別は通常、規定値のUDPで問題ありませんがご利用中のサービスがTCPやTLS接続を利用している場合はそれらを選択してください。

※TLS接続を指定した場合は、証明書を設定するための「TLS接続」ボタンがアカウント設定画面下部に表示さ

れますので、そこから証明書の設定を行ってください。

プライバシーの種類は、使わない(Not Used)、None、IDの中から選択が行えます。これはご利用中のサーバがプライバシー機能に対応している場合、有効にする事によって非通知発信が可能になる機能です。

Contact値の置換を有効にすると、サーバの応答がパケットが別のアドレスから受信されたことを示している場合、SIPContact-HeaderとSDP本体のIPアドレスが置き換えられます。

コンタクト値を難読化(匿名性を高める)を有効にするとSIPパケットのcontactヘッダフィールドに用いるユーザインフォ部をランダムな文字列に置き換えます。

ダイヤルオプション設定

外線と判断する桁数	None	付加する番号	
-----------	------	--------	--

外線と判断する桁数でNone以外を設定すると、設定した桁数以上の番号に発信した場合は外線発信とみなします。

付加する番号は外線と判断する桁数の条件を満たした場合、ここで指定した任意の番号を発信番号の先頭に付与(プレフィックス)して発信を行います。

2.5 全般設定

ここでの設定は、すべてのアカウントでの共通の設定になります。

全般設定

ネットワーク

待ち受けSIPポート ☒ トランスポートにUDPを使う

メディア開始ポート ☒ トランスポートにTCPを使う

STUN サーバアドレス ☐ トランスポートにTLSを使う

☒ STUNを使いNAT越えを行う

☒ WebSocketでWEBと連携する ☐ 他のPCからのWebSocket接続を許可する

WebSocket PIN

メディア

着信音デバイス

音声出力デバイス

音声入力デバイス

USBハンドセット

最大ジッタバッファ ☐ 無音圧縮(VAD)

パケット長 (ptime) ☒ エコーキャンセル

DTMF種別 ☐ 通話録音自動開始

メディア暗号化(SRTP) ☐ Ogg形式で録音する

Opusのペイロードタイプ

コーデック優先順位

有効

pcmu

gsm

pcma

speex/8000

上

下

<<

>>

無効

g722

g729

opus

speex/16000

SRTP設定

SIP

☒ NAT越えのためのシンメトリック応答ルーティングを有効にする

☐ 静的ペイロードタイプをRTPMAPに記載する

☐ REPLACE付転送を使う

☐ 応答前転送のBYEをsipfragの100 TRYINGの直後に送信する

☐ 着信タイムアウトで留守番電話 タイムアウト(秒)

☐ アプリ起動時にREGISTERの前にUNREGISTERを送信する

一般

同時通話の数 ☐ アイドル時にアイドル音を再生する

保留音 再生 ファイル選択

アイドル音 再生 ファイル選択

内線着信音 再生 ファイル選択

外線着信音 再生 ファイル選択

ショートカット

発信/応答

切断

☒ 着信時にフォーカス取得する

アクションURL

関連付けの設定

ネットワーク設定

待ち受けSIPポート	63844	☒ トランスポートにUDPを使う
メディア開始ポート	4000	☒ トランスポートにTCPを使う
STUN サーバアドレス		☐ トランスポートにTLSを使う
☐ STUNを使いNAT越えを行う		
☒ WebSocketでWEBと連携する ☐ 他のPCからのWebSocket接続を許可する		
WebSocket PIN		

待ち受け**SIP**ポートではSIPのポート番号を変更することができます。ポート番号は1024～65535までの間で設定して下さい。デフォルトは5060です。特に指定がない場合は5060を指定してください。

メディア開始ポートではRTP開始ポート番号を変更することができます。特に指定がない場合は4000を指定してください。実際に使用されるポートは開始ポートを含め+20となり、4000-4019ポートをメディア用に使用します。

STUNサーバアドレスにアドレスを入力しておくと、NAT越え設定でSTUNが選択された際に、このアドレスを使用してNAT越えを試みます。STUNサーバは公開されている有効なサーバをご利用になるか、もしくは任意のアドレスをご入力ください。この項目は省略可能です。この項目を有効にするには「**STUN**を使い**NAT**越えを行う」にチェックを入れてください。

公開STUNサーバ参考URL

<https://www.google.co.jp/search?q=public+stun+server>

STUNサーバのリスト

stun.l.google.com:19302
stun1.l.google.com:19302
stun2.l.google.com:19302
stun3.l.google.com:19302
stun4.l.google.com:19302

stun.ekiga.net
stun.iptel.org
stunserver.org

WebSocketで**WEB**と連携するではWebSocketによるWEB連携機能の有効/無効を切り替える事が出来ます。この機能を利用するにはWEB側が対応している必要がありますが、以下のChromeプラグインを利用する事でAGEphoneBiz3のWebSocket連携機能を体験できます。

AGEphone for Chrome

<https://chrome.google.com/webstore/detail/agephone/nkiionkcjagnednjbncfgllljolgnbel/related?hl=ja>

他の**PC**からの**WebSocket**接続を許可する場合は**WebSocket PIN**コードを設定してください。PINコードを設定すると、Web側と同じPINコードのアクセスのみ接続を許可します。(同一PCからのみ接続されるという場合は、この設定はOFFのままご使用ください。)

他のPCから接続される場合は、セキュリティ設定を十分確認された上、ローカルネットワーク以外からのアクセスを遮断されていることを確認し、他のPCからの接続はローカルネットワーク内のみで使用されることを強く推奨します。

なお、他のPCからのWebSocket接続を行うにはファイアウォールの設定を変更する必要がある場合があります。AGEphoneBiz3の通信が許可されている事を確認してください。

トランスポートに**UDP/TCP/TLS**を使う という設定では複数をオン(チェック)することができます。しかし全てチェックを外すことはできません。どれか1つは必ずチェックしてください。特に指定がない場合はUDPを選択してください。暗号化対応があるサーバを使用する場合はTLSを選択してください。

TLS接続を指定した場合は、証明書を設定するための「**TLS**接続」ボタンがアカウント設定画面下部に表示されます。

TLS設定画面で該当する項目のチェックを有効にし、各ファイルパス、秘密鍵のパスワードを入力して下さい。

TLS設定

☐ クライアント証明書を確認する

☒ サーバ証明書を確認する

☒ クライアント証明書を要求

☒ Contact/Routeヘッダーのチェック

証明書ファイル

C:\Users\ageet\Desktop\ageet\client-ca.pem

秘密鍵ファイル

C:\Users\ageet\Desktop\ageet\client.pem

秘密鍵のパスワード

●●●●●●

CAファイル

C:\Users\ageet\Desktop\ageet\ca.pem

OK キャンセル

SIP設定

☒ NAT越えのためのシンメトリック応答ルーティングを有効にする

☐ 静的ペイロードタイプをRTPMAPに記載する

☐ REPLACE付転送を使う

☐ 応答前転送のBYEをsipfragの100 TRYINGの直後に送信する

☐ 着信タイムアウトで留守番電話

タイムアウト(秒) 30

☐ アプリ起動時にREGISTERの前にUNREGISTERを送信する

NAT越えのためのシンメトリック応答ルーティングを有効にするをオンにすると、RFC3581に基づき、リクエストが生成されたソースIPアドレスおよびポートへ応答を返すようにサーバへ要求します。(RFC3581に対応していないSIPサーバではBad Requestを返す場合があるのでご注意下さい)

静的ペイロードタイプをRTPMAPに記載するをオンにするとSIPのパケットにRTPのペイロード種別を記載します。通常は必要ありませんが、サーバによっては記載がないとエラーを返すものがあります。

REPLACE付転送を使うをオンにすると、通話の転送を行う際にREPLACEヘッダを使用します。SIPサーバによって必要の有無が異なりますが、転送に問題がないときには変更の必要はありません。

応答前転送のBYEをsipfragの100 TRYINGの直後に送信するをオンにすると、Asteriskサーバをご利用の場合に応答前転送がご利用いただけます。Asteriskサーバをご利用でない場合は、オフにご利用ください。

着信タイムアウトで留守番電話と**タイムアウト(秒)**の設定ではチェックをオンにすることで、着信時に指定した秒数が経過した場合に留守番電話として応答するようになります。

アプリ起動時にREGISTERの前にUNREGISTERを送信するをオンにすることで、他のPCなどで同じアカウントで利用していた場合に、アプリ起動時にREGISTERの上書きを行い、ご利用のPC上のAGEphone Business 3で着信できるようになります。

メディア設定

着信音デバイス	スピーカー (VoIPvoice USB Phone) ▼	
音声出力デバイス	スピーカー (VoIPvoice USB Phone) ▼	
音声入力デバイス	マイク (VoIPvoice USB Phone) ▼	
USBハンドセット	VoIPvoice USB Handset(Type1) ▼	
最大ジッタバッファ	500 ▼	☐ 無音圧縮(VAD)
パケット長 (ptime)	Default ▼	☒ エコーキャンセル
DTMF種別	Rfc2833 ▼	☐ 通話録音自動開始
メディア暗号化(SRTP)	無効 ▼	☐ Ogg形式で録音する
Opusのペイロードタイプ	120	
コーデック優先順位		
有効	無効	
speex/8000	上	SILK/12000
gsm	下	SILK/16000
pcmu	<<	SILK/24000
pcma	>>	SILK/8000
		g722
		g729
		opus
		SRTTP設定

着信音デバイスでは電話の着信時に、着信音を再生するためのデバイスを選びます。

音声出力デバイスでは通話時に、通話音声を再生するためのデバイスを選びます。

音声入力デバイスでは通話時に、通話音声を入力(録音)するためのデバイスを選びます。

USBハンドセットでは通話に用いるハンドセットを選択します。対応デバイスは一覧表示されますが、対応していないデバイスは一覧に表示されません。

最大ジッタバッファでは、より大きい数値(単位はミリ秒)を設定するとその分の遅延が発生しますが、指定された秒数間のバッファがなくなるまで音飛びを防ぐことが可能になります。

パケット長(ptime)ではパケットの長さを10msecから50msecの中で指定します。通常変更することはありませんが、無線接続などで音飛びがひどい場合、40msec以上を選ぶことで改善される場合があります。ただしこの設定はサーバの仕様に依存し、変更できない場合があります。

DTMF種別ではDTMFを2種類から選択します。Inbandを選択した場合は、みなし音声としてDTMF信号を送出します。Inbandで送出的場合、コーデックはpcmuもしくはpcma以外の動作保証はしていません。RFC2833を選択した場合は、DTMF信号をRFC2833に準拠した形式で送付します。RFC2833はサーバ(ゲートウェイ等)側で対応している必要があります。

メディア暗号化(SRTP)では無効、任意または必須から選択します。必須にすると、SDS方式で音声パケットを暗号化します。この設定はサーバが対応している必要があります。

Opusのペイロードタイプでは、96から127の値を指定します。

無音圧縮(VAD)をオンにすると無音時にパケットを送らないようにします。

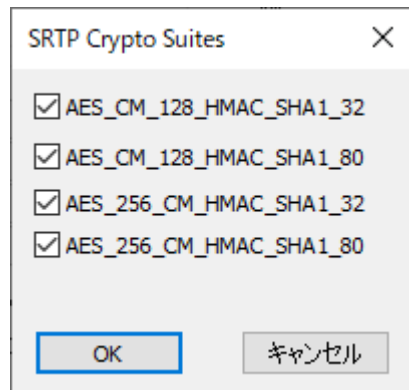
エコーキャンセルをオンにすると、ソフトウェアエコーキャンセルを行います。これにより相手に聞こえるエコーが軽減されます。

通話録音自動開始をオンにすると、通話開始時に通話録音を開始します。

Ogg形式で録音するをオンにすると、通話録音ファイルをoggフォーマットで出力します。

コーデック優先順位では、有効時の優先度と、使用するコーデックのオン/オフがリストにより設定出来ます。有効にする場合は右のリストから入れたいコーデック名を選び、「<<」ボタンを押してください。無効にする場合は左のリストから無効にしたいコーデック名を選び、「>>」ボタンを押してください。

SRTPをクリックすると、SRTPのcrypto-suiteに使用するリストを表示します。通常は設定を変更していただく必要はありません。



一般設定

同時通話の数	5	☐ アイドル時にアイドル音を再生する	
保留音	hold_music.wav	再生	ファイル選択
アイドル音	idle_music.wav	再生	ファイル選択
内線着信音	ringtone.wav	再生	ファイル選択
外線着信音	ringtone_bell.wav	再生	ファイル選択

同時通話の数をここで指定できます。同時通話の数が2の時は3つ目の発信が行えなくなるので、転送先との通話が確立できている間は、さらに別の転送先との通話はできないように設定できます。同時通話の数が3の時は3つ目の発信が行えるようになります。

アイドル時にアイドル音を再生するをオンにすると、アイドル音で設定した音声ファイルを待機中に常に再生します。通話状態、もしくは設定画面を開いた際に停止し、待機中に戻ると再生を再開します。

保留音をここで任意の保留音に差し替えることが可能です。保留音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと60秒以内の音声ファイルである必要があります。再生から設定中の保留音を再生することができます。

アイドル音では、任意のアイドル音に差し替えることが可能です。アイドル音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。再生から設定中の保留音を再生することができます。

内線着信音では、内線と判断される桁数の番号からの着信音を差し替えることが可能です。着信音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。再生から設定中の着信音を再生することができます。

外線着信音では、外線と判断される桁数の番号からの着信音を差し替えることが可能です。着信音の拡張式はwavファイルで8kHz16ビットのモノラル形式であることと、60秒以内の音声ファイルである必要があります。再生から設定中の着信音を再生することができます。

ショートカット設定

発信/応答でEnterやShift+Enterを設定しておく、電話番号入力後や着信時に、クリック操作を行わなくても、設定したショートカットコマンドを入力することにより発信操作が実行されます。

切断でEscやShift+Escを設定しておく、電話番号入力後や発信中、通話接続中に、クリック操作を行わなくても、ショートカットコマンドを入力することにより切断操作が実行されます。

着信時にフォーカスを取得するは規定でONの状態です。OFFに変更すると、着信時にAGEphone Business 3がフォーカスを取得しないようになるため、別ソフトでテキスト入力中などの時にAGEphone Business 3へ着信があった際にAGEphone Business 3にフォーカスが奪われず、入力が止まってしまう事を防ぎます。

2.6 アクションURL

着信時、発信時、通話開始時、切断時、それぞれのタイミングでWEBサービスと連携することができます。またパラメータとして使えるのは次の4つです。

相手のID(番号)...%rid%
相手の名前(連絡先名または表示名¹)...%rname%
自分のID(番号)...%lid%
自分の名前...%lname%
Call ID...%callid%

Call IDとは、通話ごとにユニーク(一意)になるIDのことで、通話を識別する際に利用できます。

アクションURLを有効にするをオンにすると、設定しているアクションURLがそれぞれのタイミングで実行されます。

着信時にその相手の番号をGoogleで調べたいときは、「https://www.google.co.jp/search?q=%rid%」とします。

名前で調べる場合は「https://www.google.co.jp/search?q=%rname%」とします。検索に使用する値の優先順位は、次の通りです。

- 連絡先に登録されている名前

¹ SIPパケットに表示名が含まれている場合に限りです。

- 相手のSIPアカウントの表示名
- 相手のユーザID

アクションURL

相手のID 相手の名前 自分のID 自分の名前 Call ID

着信時

発信時

通話開始時

切断時

☒ アクションURLを有効にする

OK キャンセル

例えば上記のような設定にすれば、着信した時には相手の番号で検索し、通話開始時には相手の名前(アドレス帳に登録されている連絡先名または表示名²)で検索することができます。

この様にWEB連携が可能ですのでCRMなどのWEBアプリケーションと容易に連携することができます。

アクションURLの応用例

<https://www.jpnumber.com/searchnumber.do>というサイトがあります。このサイトでは迷惑電話か否かの検索を行うことができます。しかし、着信があって直ぐこのサイトを開いて番号を検索するのは難しいため、アクションURLが活躍します。

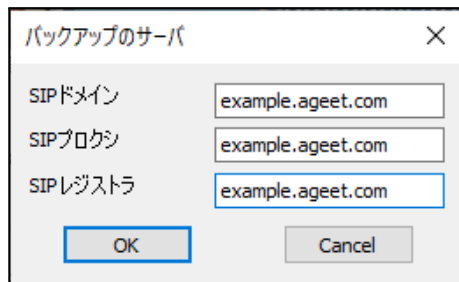
アクションURLの「着信時」に「<https://www.jpnumber.com/searchnumber.do?number=%rid%/>」と登録してみてください。着信と同時にその番号が迷惑電話でないか検索出来ます。

² SIPパケットに表示名が含まれている場合に限りです。

3. ディザスタリカバリ機能

3.1 機能説明

DR(ディザスタリカバリ)機能は災害発生時などの復旧対策機能です。バックアップのサーバの設定内で予めバックアップ用のサーバ情報を設定しておく、万が一メインサーバが停止した際にバックアップサーバで再度レジスター登録を試みます。※ユーザIDやパスワードはメインサーバとバックアップサーバで同じものが使用されている必要があります。



3.2 DR機能有効時



DR機能が動作し、バックアップサーバへ切り替わった際はがメイン画面に表示されます。また、切替時はポップアップのお知らせが表示されます。

想定される切替シーンの例：

- ①AGExphone Business3起動時にメインサーバが停止している場合は、バックアップサーバを使用しレジスター登録を行います。
- ②AGExphone Business3起動後にメインサーバが停止した場合、次の再レジスターが行われるタイミングでバックアップサーバを使用しレジスター再登録を行います。
- ③メインサーバが停止した後にAGExphone Business3で発信を行った場合、発信が失敗した後にバックアップサーバを使用しレジスター再登録を行い、レジスター登録後に失敗した発信先へ再度発信を行います。
- ④メインサーバもバックアップサーバも停止している場合は次の再レジスターが行われるタイミングでバックアップサーバもしくはメインサーバへ交互に接続を試みます。なお、いずれかのサーバが復旧した場合は一定時間経過後に復旧したサーバで再度レジスター登録を行います。

4. URLプロトコル連携

4.1 機能説明

Webブラウザ等から特定の形式のリンクをクリックする事で、AGEphoneでの発信が可能です。

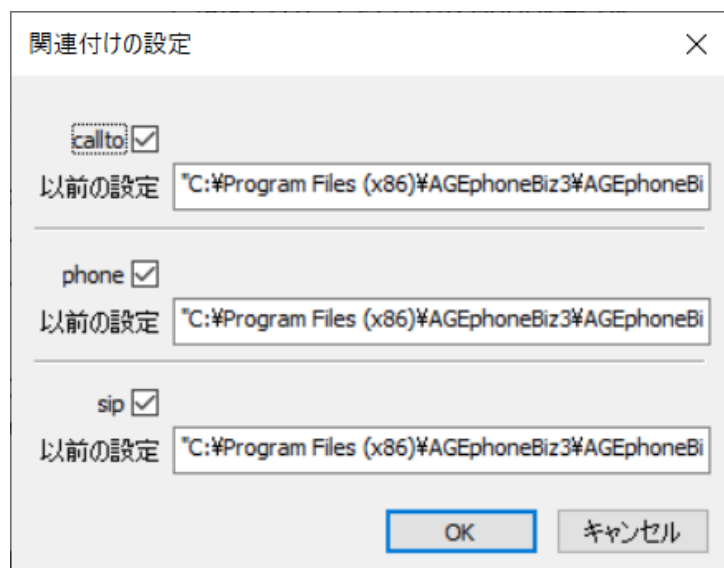
例えば下記形式のリンクをクリックした場合、AGEphoneで613番に発信を行います。

エコーテスト

連携可能な形式は下記の通りです。

- callto://XXX
- phone://XXX
- sip://XXX
- agephone://XXX

4.2 関連付けの設定



AGEphoneの初回起動時には、ブラウザからリンクをクリックした時、AGEphoneから発信を行うように自動的に関連付けられていますが、Skype等、他のアプリケーションによって関連付けを奪われる場合があります。

関連付けの設定でチェックを入れる事で、AGEphoneに再度関連付けを行う事ができます。また、チェックを外す事で、AGEphoneに関連付ける前の設定に復元する事が可能です。

以前の設定にはAGEphoneに関連付けられる前に設定されていた値が表示されます。

5. 操作方法

キーボードから主要な操作は全て行えるように設計されています。(キーボードから行える操作は、ポップアップメニューの右側にも記載があります)

メイン画面にフォーカスされている状態で、キーボードから数字を入力すればダイヤル先を入力できます。



5.1 ポップアップメニュー

メイン画面から右クリック(もしくはキーボードのコンテキストメニューボタン)をすることでポップアップメニューを開きます。

通話操作に関することは別途ご説明いたしますが、ポップアップメニューからでも、通話、切断などの電話の操作が可能です。

	接続	Enter
	切断	Esc
	発信履歴	←
	着信履歴	←
	待受状態	>
	転送	
	保留	
	マイク消音	
	通話録音	>
	切断で転送完了	
	アドレス帳...	
	拡大	>
	最小化	
☒	最前面に表示	
	移動	
	ツール	>
	終了	

接続をクリックすると、着信中の通話に応答します。待機状態や転送先発信前にメイン画面にて番号が入力されている時にクリックすると、発信ボタンとして機能します。

切断を通話中にクリックすると、接続中の通話を切断します。発信中にクリックすると発信をキャンセルします。着信中にクリックすると着信を拒否します。発信履歴をクリックすると、最新の発信履歴一覧を表示します。一覧から任意の履歴を選択すると、その履歴に対して発信を行います。

着信履歴をクリックすると、最新の着信履歴一覧を表示します。一覧から任意の履歴を選択すると、その履歴に対して発信を行います。

転送を第二呼との通話中にクリックすると、第一呼の通話を第二呼へ転送完了し、AGEphone Business 3は待機状態へと状態遷移します。

保留を通話状態の時にクリックすると、接続中の通話が保留状態となります。また、保留状態の時にクリックすると保留が解除され再び通話状態となります。

マイク消音を通話中にクリックすることにより一時的にマイク入力を消音状態にすることが可能です。マイク消音状態の時に再度マイク消音をクリックすると消音状態を解除し、再度通常通り通話が可能になります。なお、この機能は通話切断時にリセットされます。

切断で転送完了を有効にすると、転送を行う時に転送ボタンを押すのではなく、切断ボタンを押したタイミングで転送を完了します。ここにチェックが入っていない場合は、切断ボタンを押下すると接続中の通話が切断されます。

アドレス帳をクリックすると別画面でアドレス帳を開きます。

最小化を選択するとWindowsタスクバー右のタスクトレイにAGEphone Business 3を格納します。

最前面に表示を有効にするとAGEphone Business 3を常に他のウインドウよりも手前に表示するようにします。

移動をクリックするとキーボードの方向キーやカーソルでウインドウが移動できます。マルチモニターでの利用時に別画面への移動も可能になります。

終了をクリックするとAGEphone Business 3が終了します。

待ち受け状態

☒	標準
	自動通話開始
	着信拒否
	即時留守番電話応答

着信をどのように受けるかを指定出来ます。

標準...着信音となり、着信状態になります。

自動通話開始...自動的に通話状態になります。

着信拒否...着信を拒否します。

即時留守番電話応答...着信後すぐに留守番電話として応答します。

通話録音

録音
最新の録音ファイルを再生する
録音フォルダを開く

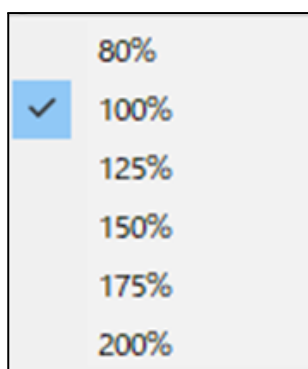
通話録音に関する操作が行えます。

録音...通話中にクリックすることにより、録音を開始します。通話を切断、または通話中にもう一度クリックしてチェックを外すと録音を停止します。

最新の録音ファイルを再生する...最後に録音した通話を再生します。

録音フォルダを開く...録音を記録しているフォルダを開きます。

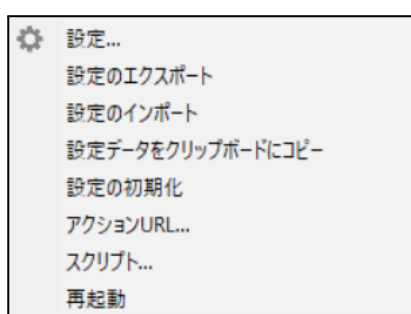
拡大



AGEphone Business 3の拡大表示

80%...原寸大から80%の拡大率で表示します。
100%...原寸大で表示します。
125%...原寸大から125%の拡大率で表示します。
150%...原寸大から150%の拡大率で表示します。
175%...原寸大から175%の拡大率で表示します。
200%...原寸大から200%の拡大率で表示します。

ツール



設定... [アカウント設定画面](#)を開きます。
設定のエクスポート... 設定されているアカウント情報をjson形式でエクスポートします。
設定のインポート... json形式で作成されたアカウント情報をインポートします。
設定データをクリップボードにコピー... 設定されているアカウント情報をクリップボードにコピーします。
設定の初期化... アドレス帳や履歴、通話録音以外の保存データを削除します。
アクションURL... [アクションURL画面](#)を開きます。
スクリプト... スクリプト編集画面を開きます。
再起動... サーバとの接続を再試行します。

5.2 SIPサーバへの登録

設定画面にて登録されたSIPサーバに接続が成功すると、ステータス部には **ダイヤルできます** 「ダイヤルできます」のメッセージが表示され、 緑のランプが点灯します。この状態の時に、発着信が可能となります。

SIPサーバに接続への接続が失敗している場合は  赤のランプが点灯します。この状態では発着信できませんのでご注意ください。適切なネットワーク環境が存在しない場合や、適切な設定が行われていない場合、処理待ちによりAGEphone Business 3の画面の動作が遅く感じる場合があります。その際は接続環境や設定内容を再度ご確認ください。

5.3 着信時

着信番号が連絡先の電話番号にある場合その名前を表示します。また、この時着信履歴にもその名前が記録されます。

5.4 発信時

電話番号を入力した後、 (応答/発信ボタン)をクリックすることで発信を行います。

5.5 通話をする

着信中に  (応答/発信ボタン)を押すことで通話が開始されます。また、 ダイヤルボタンで相手先の番号を入力し、 (応答/発信ボタン)を押すことで発信できます。

5.6 発信のキャンセル

呼び出し音の再生中に  (切断ボタン)を押すことで発信の中断を行います。

5.7 通話を切断する

通話中に  (切断ボタン)を押すことで通話を切断できます。

5.8 通話を保留する

通話を保留する際には  (保留ボタン)を押してください。また、解除する際にも同じ位置に表示される  (保留解除ボタン)を押します。
※本製品の保留機能はRFC2327/RFC3264/Streamingのいずれかに対応していない場合動作いたしません。

5.9 通話を転送する

通話を転送するには、2つの回線で通話を確立している必要があります。まず、第一呼の通話を保留状態にし、その状態で第二呼の通話をダイヤルしてください。転送を実施するには  転送ボタンを押して転送を完了させます。

5.10 音量を調節する



アプリケーション全体のボリュームを調整することができます。



通話ボリュームを調整することができます。



マイク入力のボリュームを調整することができます。また通話中にマイクのアイコンをクリックすることでマイクをミュート状態にすることができます。

5.11 ショートカット登録

ショートカットボタンはメイン画面中央に5x6個、合計30個配置されています。ここにはよくダイヤルする番号と名称を設定しておくことができます。

登録するには、ショートカットボタンの空欄を押下します。空欄でない場合は、ボタンをクリックすることでそのボタンに設定されたダイヤル先にダイヤルを行います。
すでに登録されているショートカットを編集するときはキーボードのShiftキーを押しながらショートカットボタンを押下します。

ショートカットの登録画面には、表示名と、ダイヤル番号を入力する2つのエリアがあります。
表示名にはあまり長い文字を入れると表示が隠れてしまいますので全角4文字までを目安に入力してください。
ダイヤルには相手先の番号を入力します。ダイヤル先として入力できるのは次の文字列です。「0-9,a-z,A-Z,*#-」

5.12 アプリケーションを最小化する

メイン画面上部の  (最小化ボタン)をクリックすることで、AGEphone Business 3をタスクトレイに格納し、常駐状態で待機することができます。元の状態に戻す場合はタスクトレイから、AGEphone Business 3のアイコンを探し、クリックしてください。

5.13 アプリケーションを終了する

メイン画面上部の  (終了ボタン)をクリックすることでAGEphone Business 3を終了することができます。なお通話中にこのボタンをクリックすると、通話が切断されますのでご注意ください。

5.14 通話履歴

通話履歴のモードは、メイン画面から簡単に呼び出せる簡易履歴と、アドレス帳から呼び出せる2種類があります。

簡易履歴では直近の10件のみをポップアップメニューで表示することができ、アドレス帳から呼び出せる履歴では、発信着信合わせて500件までの履歴がリストに表示されます。

各履歴の左側に表示されるアイコンは次の通りです。



発信...発信し、通話が確立した履歴を表します。



発信不在...発信し応答が無かった履歴を表します。

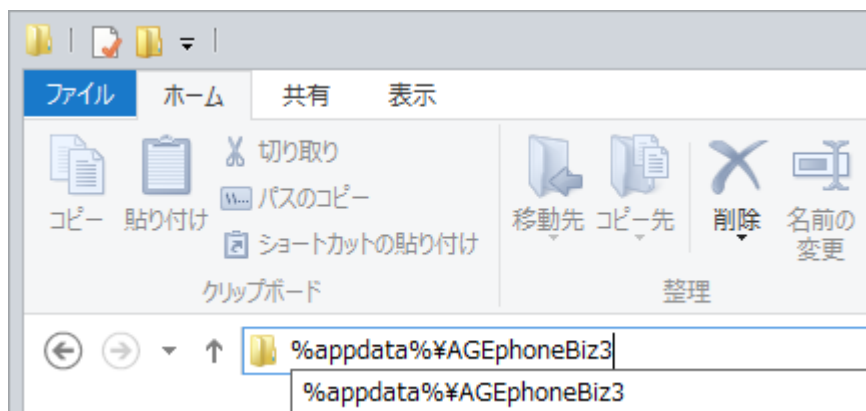


着信...着信し、通話が確立した履歴を表します。



不在着信...着信し応答が無かった履歴を表します。

通話履歴の格納場所



通話履歴、及びアドレス帳のデータは、以下の場所に格納されています。バックアップや消去を行う場合は、次のフォルダをご確認ください

%appdata%\AGEphoneBiz3

また、cdr.dbというファイルは SQLite形式になっておりますので、SQLite対応の外部アプリとの連携が可能になっています。

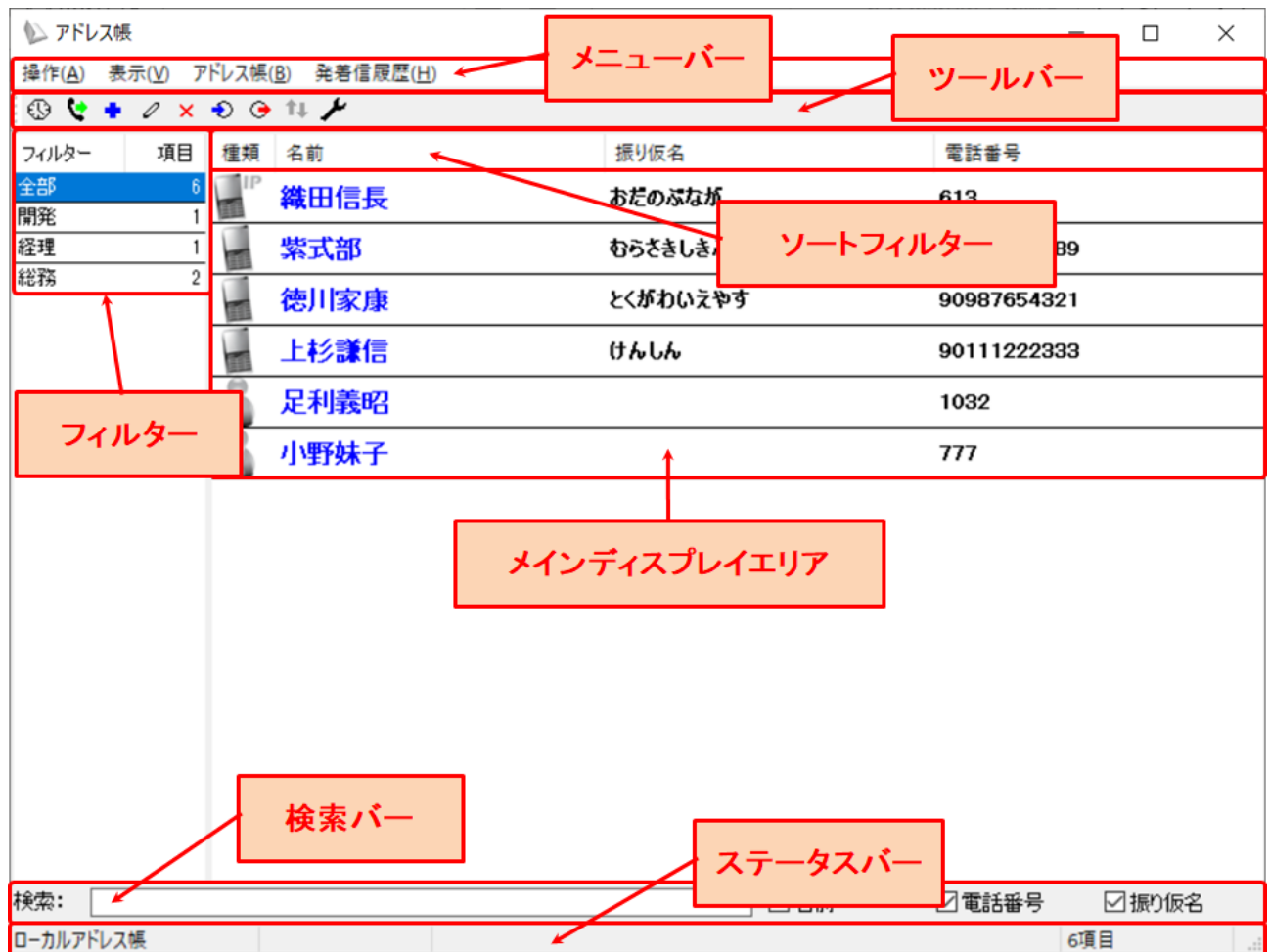
外部アプリ例-SQLite Database Browser

<http://sourceforge.net/projects/sqlitebrowser/>

6. アドレス帳

AGEphone Business 3の電話画面メイン画面上部の  (アドレス帳ボタン)をクリックすることでアドレス帳を開くことができます。

6.1 各部名称



メニューバー...各メニューへのアクセスが可能です。利用可能なメニューはアドレス帳を表示している状態の時と発着信履歴を表示している時によって異なります。

ツールバー...よく使うメニューへのクイックアクセスが可能です。利用可能なメニューはアドレス帳を表示している状態の時と発着信履歴を表示している時によって異なります。

フィルター...フィルター表示エリアです。表示されるフィルターはアドレス帳を表示している状態の時と発着信履歴を表示している時や、アドレス帳の種類、フィルターの表示設定によって異なります。

メインディスプレイエリア...メインディスプレイに表示される内容はアドレス帳を表示している状態の時と発着信履歴を表示している時、フィルターの選択状態によって異なります。

ソートフィルター...連絡先や履歴の表示データを昇順降順にソートします。

検索バー...連絡先や履歴の検索が行えます。検索バーで使用可能な検索値は漢字・ひらがな・アルファベット・数字・記号となります。また、バー右部に設けられた下記のフィルターのチェックを有効・無効にすることにより更に絞った検索が可能になります。

ステータスバー...利用中のアドレス帳情報や該当件数など、その他ステータスの確認が可能です。

7. アドレス帳(ローカル)

AGEphone Business3のアドレス帳機能を使用し連絡先を管理する際は、こちらのアドレス帳を使用します。+電話帳のクラウドサーバを使用し、アドレス帳を一元管理する操作方法については[7. アドレス帳\(+電話帳\)](#)をご確認ください。

7.1 メニューバー

操作(A) 表示(V) アドレス帳(B) 発着信履歴(H) アドレス帳画面のメニューバーから次の操作が可能です。

【アドレス帳表示状態】

■操作

発信...発信を行う連絡先を選択した状態でクリックすると発信を行います。
※本操作は任意の連絡先の右クリック/ダブルクリック操作からも実行可能です。
終了...アドレス帳を閉じます。

■表示

アドレス帳...非活性の状態です。
発着信履歴...アドレス帳が表示されている時にクリックすると発着信履歴に表示が切り替わります。

■アドレス帳

+電話帳...非活性の状態です。
追加...ローカルアドレス帳へ連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。
※本操作は任意の連絡先または空欄エリアの右クリック操作からも実行可能です。
編集...連絡先を選択した状態でクリックすると既存の連絡先を編集するための画面が開きます。
※本操作は任意の連絡先の右クリック操作からも実行可能です。
削除...連絡先を選択した状態でクリックすると連絡先の削除を実行するための確認画面が開きます。
※本操作は任意の連絡先の右クリック操作からも実行可能です。
インポート...ローカルアドレス帳へインポートする方法を選択する画面が表示されます。
エクスポート...ローカルアドレス帳のデータのエクスポート先を指定する画面が表示されます。
設定...使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

■発着信履歴

発着信履歴を全て削除...非活性の状態です。

【履歴表示状態】

■操作

発信...発信を行う履歴を選択した状態でクリックすると発信を行います。
※本操作は任意の履歴の右クリック/ダブルクリック操作からも実行可能です。
終了...アドレス帳を閉じます。

■表示

アドレス帳...発着信履歴が表示されている時にクリックするとアドレス帳に表示が切り替わります。
発着信履歴...非活性の状態です。

■アドレス帳

+電話帳...非活性の状態です。
追加...ローカルアドレス帳へ連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。
編集...非活性の状態です。

削除...履歴を選択した状態でクリックすると履歴の個別削除を実行するための確認画面が開きます。
※本操作は任意の履歴の右クリック操作からも実行可能です。
インポート...非活性の状態です。
エクスポート...非活性の状態です。
設定...使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

■発着信履歴

発着信履歴を全て削除...発着信履歴が表示されている状態でクリックすると発着信履歴の全件削除を実行するための確認画面が開きます。
※本操作は任意の履歴または空欄エリアの右クリック操作からも実行可能です。

7.2 ツールバー

アドレス帳表示状態



アドレス帳画面のツールバーから次の操作が可能です。

アドレス帳表示切替...アドレス帳が表示されている時に  をクリックすると発着信履歴に表示が切り替わります。

発信...発信を行う連絡先を選択した状態で  をクリックすると発信を行います。

追加...  をクリックするとローカルアドレス帳に連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...連絡先を選択した状態で  をクリックすると既存の連絡先を編集するための画面が開きます。

削除...連絡先を選択した状態で  をクリックすると連絡先の削除を実行するための確認画面が開きます。

インポート...  をクリックするとローカルアドレス帳をインポートする方法を選択する画面が表示されます。

エクスポート...  をクリックするとローカルアドレス帳のデータのエクスポート先を指定する画面が表示されます。

更新...  は非活性の状態です。

設定...  をクリックすると使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

発着信履歴表示状態



アドレス帳画面のツールバーから次の操作が可能です。

アドレス帳表示切替...発着信履歴が表示されている時に  をクリックするとアドレス帳に表示が切り替わります。

発信...発信を行う履歴を選択した状態で  をクリックすると発信を行います。

追加...  をクリックするとローカルアドレス帳の連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...  は非活性の状態です。

削除...履歴を選択した状態で  をクリックすると履歴の個別削除を実行するための確認画面が開きます。

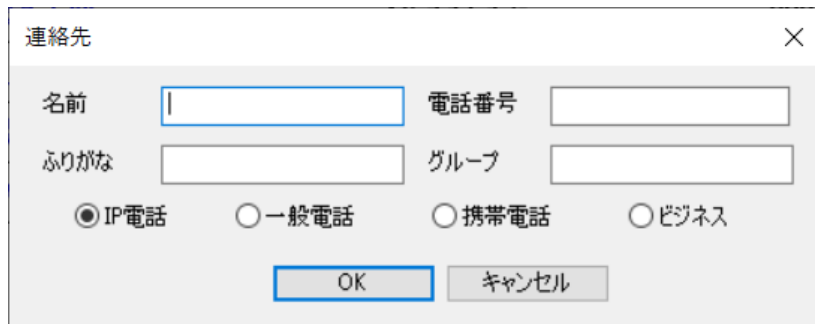
インポート...  は非活性の状態です。

エクスポート...  は非活性の状態です。

更新...  は非活性の状態です。

設定...  をクリックすると使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

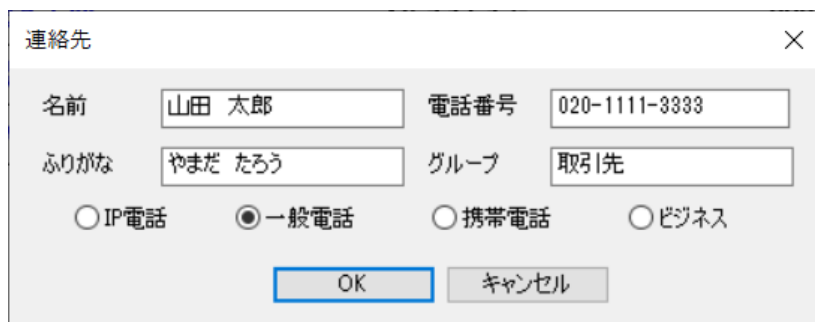
7.3 アドレス帳の追加



アドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳＞追加」を選択するとローカルの連絡先を追加するための編集画面が開きます。

ここで必要な情報を入力しOKをクリックするとローカルの連絡先が新規登録されます。

7.4 アドレス帳の編集



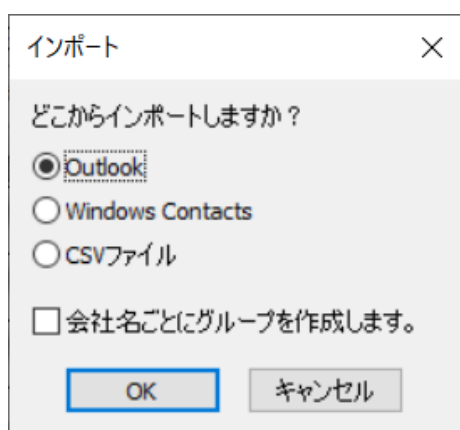
編集を行う連絡先を選択した状態でアドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳＞編集」を選択すると連絡先を編集するための編集画面が開きます。

ここで必要な情報を入力しOKをクリックするとローカルの連絡先が更新されます。

7.5 アドレス帳のエクスポート

アドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳＞エクスポート」を選択し、エクスポート先を指定する事で、CSV形式でローカルアドレス帳のデータをエクスポート可能です。

7.6 アドレス帳のインポート



アドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳＞インポート」を選択する事でローカルの連絡先へインポートが可能です。

インポートが可能な連絡先はOutlook、Windows Contacts、CSVファイル形式のいずれかです。

OutlookまたはWindows Contactsを選択し、会社名ごとにグループを作成をONにした状態でインポートを実行すると、連絡先の電話番号のラベルごとにグループが自動生成されます。

なおCSVファイルはカンマ区切りのCSVで文字コードはShift-JIS(Windowsの標準文字コード)でご利用ください。

例:

山田 太郎,020-1111-3333,取引先,やまだ たろう,2

伊藤 花子,020-2222-4444,友人,いとう はなこ,1

なお、CSVの入力可能項目は下記対応表の通りです。

名前	電話番号	グループ	ふりがな	電話の種類
----	------	------	------	-------

山田 太郎	020-1111-3333	取引先	やまだ たろう	0~3で指定可能です。 0...IP電話 1...一般電話 2...携帯電話 3...ビジネス
-------	---------------	-----	---------	---

7.7 フィルター表示

フィルター	項目
全部	7
開発	1
経理	1
取引先	1
総務	2

アドレス帳表示状態

連絡先の追加時にグループの登録があると、その名前からフィルターが自動生成されます。
全部...全ての連絡先を表示します。
任意のグループ...各グループに振り分けされた連絡先をグループ毎に表示します。

なおフィルター内で、右クリックを行うと次のメニューが表示されます。

グループでフィルターする...非活性の状態です。

組織でフィルターする...非活性の状態です。

空のフィルターを表示する...こちらを有効にしておくと、検索バーで連絡先を検索した際に検索結果が該当しない空のフィルターもフィルター表示されます。無効の場合は、該当する検索結果が存在しないフィルターは非表示の状態となります。

発着信履歴表示状態

フィルター	項目
全部	60
着信	10
発信	25
不在着信	13
発信不在	12

履歴のフィルターは下記の内容でフィルターされます。

全部...全ての履歴を表示します。
着信...着信し通話が接続された履歴を表示します。
発信...発信し通話が接続された履歴を表示します。
不在着信...着信し通話が接続されなかった履歴を表示します。
発信不在...発信し通話が接続されなかった履歴を表示します。

7.8 表示データのソート

メインディスプレイの上部に設けられたソートフィルターをクリックすると昇順降順で表示データをソートし直すことができます。

アドレス帳表示状態

種類	名前	振り仮名	電話番号
----	----	------	------

種類...連絡先の種類順でソートします。

- 降順...IP電話>一般電話>携帯電話>ビジネス
- 昇順...ビジネス>携帯電話>一般電話>IP電話

名前...名前順でソートします。

- 降順... A-Z> a-z> あ-ん> 漢字
- 昇順...漢字>ん-あ>z-a>Z-A

振り仮名...振り仮名順でソートします。

- 降順... 空白>あ-ん>ア-ン
- 昇順...ん-あ>ン-ア>空白

電話番号...電話番号でソートします。

- 降順... 9から0

→ 昇順...0から9

発着信履歴表示状態

種類 名前 日付

種類.....連絡先の種類順でソートします。

→ 降順...発信>発信不在>着信>不在着信

→ 昇順...不在着信>着信>発信不在>発信

名前・電話番号...電話番号順でソートします。

→ 降順... 9から0

→ 昇順...0から9

日付..日付を昇順降順でソートします。

→ 昇順...新しい日付から古い日付

→ 降順...古い日付から新しい日付

7.9 検索

アドレス帳表示状態・発着信履歴表示状態共通

検索バーにてキーワードを入力すると、その入力値を用いて検索が実行されます。

検索: おだ ☒ 名前 ☒ 電話番号 ☒ 振り仮名

検索バーで使用可能な検索値は漢字・ひらがな・アルファベット・数字・記号となります。

また、アドレス帳表示状態では、バー右部に設けられた下記のフィルターのチェックを有効・無効にすることにより更に絞った検索が可能になります。発着信履歴表示状態では、名前と電話番号どちらかでの検索となります。

名前...有効時検索の対象に名前を含めます。無効時は名前は検索の対象に含めません。

電話番号...有効時検索の対象に電話番号を含めます。無効時は電話番号は検索の対象に含めません。

振り仮名...有効時検索の対象に振り仮名を含めます。無効時は振り仮名は検索の対象に含めません。

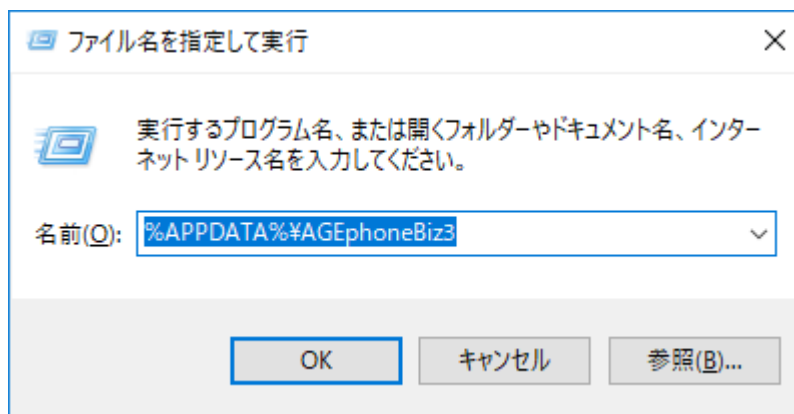
※検索が利用できなくなるため、一つ以上の項目のチェックが有効である必要があります。

7.10 データ復旧方法

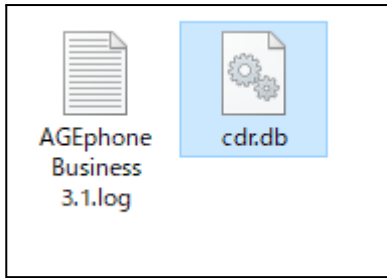
アドレスデータが壊れてしまった場合などは、初期状態に復旧する必要があります。

1. AGEphone Business 3とアドレス帳を終了して下さい。
2. キーボードの「Windows」キーを押しながら「R」キーを押下して下さい。
3. 「ファイル名を指定して実行」で以下の文字列を入力して下さい。

%APPDATA%\AGEphoneBiz3



4. OKを押して以下のファイルが有る場所を開きます。



5. cdr.dbというファイルをbackup_cdrというファイル名に変更します。
(ファイルを選んでいる状態でF2キーを押すことでファイル名の変更が行えます。)

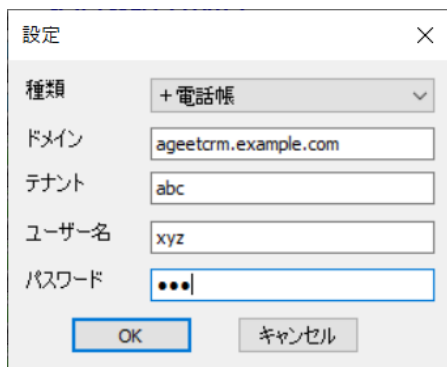
8. アドレス帳(+電話帳)

+電話帳のクラウドサーバを使用し、アドレス帳を一元管理する際は、こちらのアドレス帳を使用します。AGEphone Business3のアドレス帳機能を使用し連絡先をローカルで管理する操作方法については[6. アドレス帳\(ローカル\)](#)をご確認ください。

8.1 +電話帳について

+電話帳は法人のお客様向けの有料のクラウドサービスです。
アドレス帳を社内で一元管理する事が可能です。
利用をご希望の際は弊社サポート support@ageet.com までお問い合わせください。

8.2 ログイン操作



メニューバーから「アドレス帳＞設定」を選択すると設定画面が表示されます。ここで管理者から配布された+電話帳のログイン情報を左図のように入力しOKをクリックします。ログインに成功すると、サーバとの同期処理が実行されます。

8.3 メニューバー

操作(A) 表示(V) アドレス帳(B) 発着信履歴(H)

アドレス帳画面のメニューバーから次の操作が可能です。

【アドレス帳表示状態】

■操作

発信...発信を行う連絡先を選択した状態でクリックすると発信を行います。
※本操作は任意の連絡先の右クリック/ダブルクリック操作からも実行可能です。
終了...アドレス帳を閉じます。

■表示

アドレス帳...非活性の状態です。
発着信履歴...アドレス帳が表示されている時にクリックすると発着信履歴に表示が切り替わります。

■アドレス帳

+電話帳...

→ フィルター

- ◆ グループでフィルターする...組織でのフィルター表示が有効になっている状態でクリックするとグループでのフィルター表示に切り替わります。
- ◆ 組織でフィルターする...グループでのフィルター表示が有効になっている状態でクリックすると組織でのフィルター表示に切り替わります。

- **更新...**+電話帳サーバとの更新差分を洗い出して部分的な更新を行います。
- **リセット...** +電話帳のキャッシュをリセットし、全ての連絡先情報を再度ダウンロードし直します。

追加...+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

※本操作は任意の連絡先または空欄エリアの右クリック操作からも実行可能です。

編集...編集権限のある連絡先を選択した状態でクリックすると既存の連絡先を編集するための画面が開きます。編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると編集画面は開きますがそこから編集操作は行えず非活性の状態となります。

※本操作は任意の連絡先の右クリック操作からも実行可能です。

(右クリック時は権限がある時は編集、権限がない時は表示というメニューが表示されます。)

削除...編集権限のある連絡先を選択した状態でクリックすると連絡先の削除を実行するための確認画面が開きます。編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると権限の関係で削除の実行が行えないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

※本操作は任意の連絡先の右クリック操作からも実行可能です。

インポート...非活性の状態です。

エクスポート...非活性の状態です。

設定...使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

■発着信履歴

発着信履歴を全て削除...非活性の状態です。

【履歴表示状態】

■操作

発信...発信を行う履歴を選択した状態でクリックすると発信を行います。

※本操作は任意の履歴の右クリック/ダブルクリック操作からも実行可能です。

終了...アドレス帳を閉じます。

■表示

アドレス帳...発着信履歴が表示されている時にクリックするとアドレス帳に表示が切り替わります。

発着信履歴...非活性の状態です。

■アドレス帳

+電話帳...

→ フィルター

- ◆ グループでフィルターする...非活性の状態です。
- ◆ 組織でフィルターする...非活性の状態です。

→ **更新...**+電話帳サーバとの更新差分を洗い出して部分的な更新を行います。

→ **リセット...** +電話帳のキャッシュをリセットし、全ての通話履歴情報を再度ダウンロードし直します。

追加...+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...非活性の状態です。

削除...履歴を選択した状態でクリックすると履歴の個別削除を実行するための確認画面が開きます。

※本操作は任意の履歴の右クリック操作からも実行可能です。

インポート...非活性の状態です。

エクスポート...非活性の状態です。

設定...使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

■発着信履歴

発着信履歴を全て削除...発着信履歴が表示されている状態でクリックすると発着信履歴の全件削除を実行するための確認画面が開きます。この操作を実行すると、+電話帳サーバの通話履歴も全件削除されますのでご注意ください。

※本操作は任意の履歴または空欄エリアの右クリック操作からも実行可能です。

8.4 ツールバー

アドレス帳表示状態



アドレス帳画面のツールバーから次の操作が可能です。

アドレス帳表示切替...アドレス帳が表示されている時に  をクリックすると発着信履歴に表示が切り替わります。

発信...発信を行う連絡先を選択した状態で  をクリックすると発信を行います。

追加...  をクリックすると+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...編集権限のある連絡先を選択した状態で  をクリックすると既存の連絡先を編集するための画面が開きます。編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると編集画面は開きますがそこから編集操作は行えず非活性の状態となります。

削除...編集権限のある連絡先を選択した状態で  をクリックすると連絡先の削除を実行するための確認画面が開きます。編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると権限の関係で削除の実行が行えないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

インポート...  は非活性の状態です。

エクスポート...  は非活性の状態です。

更新...  をクリックすると+電話帳サーバとの更新差分を洗い出して部分的な更新を行います。

設定...  をクリックすると使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

発着信履歴表示状態



アドレス帳画面のツールバーから次の操作が可能です。

アドレス帳表示切替...発着信履歴が表示されている時に  をクリックするとアドレス帳に表示が切り替わります。

発信...発信を行う履歴を選択した状態で  をクリックすると発信を行います。

追加...  をクリックすると+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための連絡先編集画面を開きます。

編集...  は非活性の状態です。

削除...履歴を選択した状態で  をクリックすると履歴の個別削除を実行するための確認画面が開きます。

インポート...  は非活性の状態です。

エクスポート...  は非活性の状態です。

更新...  をクリックすると+電話帳サーバとの更新差分を洗い出して部分的な更新を行います。

設定...  をクリックすると使用するアドレス帳を変更するための設定画面が表示されます。

8.5 連絡先の追加

連絡先

名前

姓 名

姓(ふりがな) 名(ふりがな)

連絡情報

電話 携帯電話

メール その他のメール

追加情報

組織 役職 部署

住所

市 都道府県

郵便番号 国

ID グループ

共有 個人連絡先。読み、書き可能。

データが足りません。

OK キャンセル

アドレス帳画面のメニューバーから「アドレス帳＞追加」を選択すると+電話帳サーバへ個人連絡先を追加するための編集画面が開きます。

ここで必要な情報を入力しOKをクリックすると個人の連絡先が新規登録されます。

※組織全体が閲覧可能な連絡先や、グループ単位で閲覧可能な連絡先の登録は、AGEphone Business 3からではなくWebブラウザから行っていただく必要があります。詳しくは別紙：AGEphoneCRM server Manual(テナントマニュアル)をご確認ください。

8.6 連絡先の編集

連絡先

名前

姓 名

姓(ふりがな) 名(ふりがな)

連絡情報

電話 075-123-456 携帯電話 070-987-654-321

メール 123456 その他のメール

追加情報

組織 株式会社abc 役職 CEO 部署

住所 京都府向日市磯田町信長番地

市 向日市 都道府県 京都府

郵便番号 317-1234 国 日本

ID グループ

共有 個人連絡先。読み、書き可能。

OK キャンセル

編集権限のある連絡先を選択した状態でメニューバーから「アドレス帳＞編集」を選択すると連絡先を編集するための編集画面が開きます。

ここで必要な情報を入力しOKをクリックすると連絡先が更新されます。

※編集権限のない連絡先を選択した状態でクリックすると編集画面は開きますがそこから編集操作は行えず非活性の状態となります。

8.7 フィルター表示

アドレス帳表示状態

フィルター	項目
全部	33
QA	1
hello3	3
株式会社ageet	3

連絡先の追加時にグループの登録があると、その名前からフィルターが自動生成されます。
全部...全ての連絡先を表示します。
任意のグループ...各グループに振り分けされた連絡先をグループ毎に表示します。

なおフィルター内で、右クリックを行うと次のメニューが表示されます。

グループでフィルターする...グループの登録があると、そのグループ名でフィルター表示を行います。
組織でフィルターする...会社名等の組織の登録があると、その組織名でフィルター表示を行います。
空のフィルターを表示する...こちらを有効にしておくと、検索バーで連絡先を検索した際に検索結果が該当しない空のフィルターもフィルター表示されます。無効の場合は、該当する検索結果が存在しないフィルターは非表示の状態となります。

発着信履歴表示状態

フィルター	項目
全部	60
着信	10
発信	25
不在着信	13
発信不在	12

履歴のフィルターは下記の内容でフィルターされます。
全部...全ての履歴を表示します。
着信...着信し通話が接続された履歴を表示します。
発信...発信し通話が接続された履歴を表示します。
不在着信...着信し通話が接続されなかった履歴を表示します。
発信不在...発信し通話が接続されなかった履歴を表示します。

8.8 表示データのソート

メインディスプレイの上部に設けられたソートフィルターをクリックすると昇順降順で表示データをソートし直すことができます。

アドレス帳表示状態

種類	名前	振り仮名	電話番号
----	----	------	------

種類...連絡先の種類順でソートします。

- 降順...IP電話>一般電話>携帯電話>ビジネス
- 昇順...ビジネス>携帯電話>一般電話>IP電話

名前...名前順でソートします。

- 降順... A-Z> a-z> あ-ん> 漢字
- 昇順...漢字>ん-あ>z-a>Z-A

振り仮名...振り仮名順でソートします。

- 降順... 空白>あ-ん>ア-ン
- 昇順...ん-あ>ン-ア>空白

電話番号...電話番号でソートします。

- 降順... 9から0
- 昇順...0から9

発着信履歴表示状態

種類	名前	日付
----	----	----

種類...連絡先の種類順でソートします。

- 降順...発信>発信不在>着信>不在着信
- 昇順...不在着信>着信>発信不在>発信

名前・電話番号...電話番号順でソートします。

- 降順... 9から0

-
- 昇順...0から9
 - 日付..日付を昇順降順でソートします。
 - 昇順...新しい日付から古い日付
 - 降順...古い日付から新しい日付

8.9 検索

アドレス帳表示状態・発着信履歴表示状態共通

検索バーにてキーワードを入力すると、その入力値を用いて検索が実行されます。

検索: ☒ 名前 ☒ 電話番号 ☒ 振り仮名

検索バーで使用可能な検索値は漢字・ひらがな・アルファベット・数字・記号となります。

また、アドレス帳表示状態では、バー右部に設けられた下記のフィルターのチェックを有効・無効にすることにより更に絞った検索が可能になります。発着信履歴表示状態では、名前と電話番号どちらかでの検索となります。

名前...有効時検索の対象に名前を含めます。無効時は名前は検索の対象に含めません。

電話番号...有効時検索の対象に電話番号を含めます。無効時は電話番号は検索の対象に含めません。

振り仮名...有効時検索の対象に振り仮名を含めます。無効時は振り仮名は検索の対象に含めません。

※検索が利用できなくなるため、一つ以上の項目のチェックが有効である必要があります。

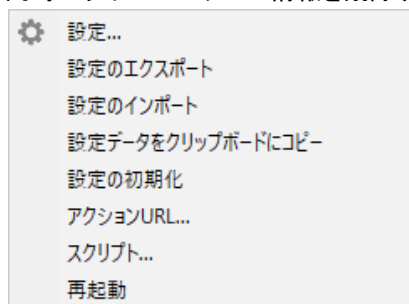
9. その他

9.1 制限事項

Windows 7の動作については動作保証を行うことはできませんが、弊社環境においては動作を確認しております。

9.2 AGEphone Business 3の利用停止方法

AGEphone Business 3の右クリックメニューから「ツール＞設定の初期化」を実施していただくことで設定情報と同時にライセンスキーの情報を削除する事が可能です。



AGEphone Business 3の利用を停止されたい場合は、こちらの操作を行ってからアンインストールを実施していただきますようお願いいたします。

9.3 別のパソコンへの移行

ライセンスの制限事項としては下記の通りです。

本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡、販売、貸与することはできません。

当ライセンスはターゲットとされるプラットフォーム以外で利用することは出来ません。

本ライセンスは一台のPCであっても、1つのライセンスを複数のユーザーで使うことは出来ません。

ですが、故障やパソコンの買い替え発生時などの場合は例外としてライセンスキーを他のパソコンへ移行が可能です。その場合は、[9.2 AGEphone Business 3の利用停止方法](#)を参考に設定情報とライセンスキーの情報を削除した上で新しいパソコンでご利用ください。移行には、古いパソコンでライセンスキーを含む設定値を予めエクスポートしておき、新しいパソコンへインポートすると便利です。

JSONファイルのドラッグ & ドロップ

AGEphone Business 3の右クリックメニューから「設定のエクスポート」を実施します。ファイルの保存先を選択する際にライセンスキーを含めるかどうか選択できますので、クリックでチェックボックスにチェックを入れて保存します。



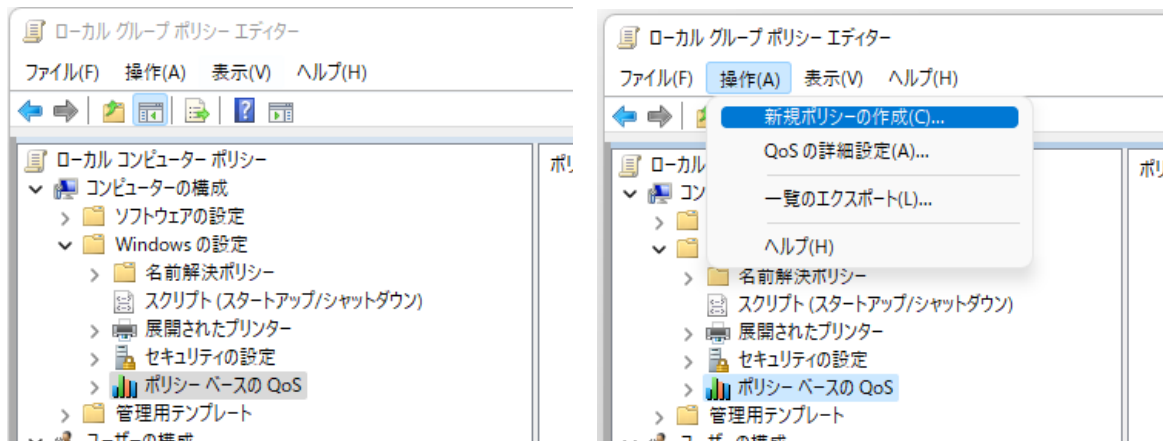
[9.2 AGEphone Business 3の利用停止方法](#)に従い、設定を初期化します。

新しいパソコンでAGEphone Business 3をインストールして、[2.2 簡易設定\(初回起動画面\)](#)でエクスポートしておいたファイルをドラッグ & ドロップすると、古いパソコンで利用していたライセンスキーおよび設定値を読み込み、AGEphone Business 3が利用できる状態になります。

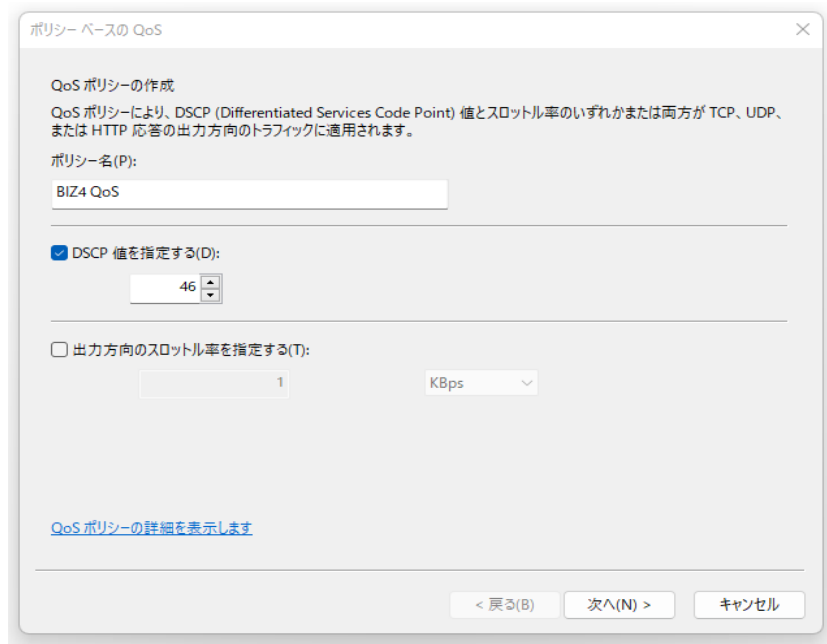
9.4 QoS設定

QoS設定が必要な場合はWindowsにて以下の手順に沿って設定してください。

1. 「gpedit.msc」を起動します。
2. 「コンピューターの構成」→「Windowsの設定」→「ポリシーベースのQoS」をクリックしメニューの操作タブで「新規ポリシーの作成」を選択します。



3. 任意のポリシー名とDSCP値を入力し「次へ」をクリックします。



4. すべてのアプリケーション、またはアプリケーション名を指定して「次へ」をクリックします。
(アプリケーション名を指定する場合の例) C:\Program Files (x86)\AGEphoneBiz3\AGEphoneBiz3.exe

5. 送信元または宛先のIPアドレスを入力し「次へ」をクリックします。
送信パケットの宛先を限定してDSCP値を指定する場合は[次の宛先IPアドレスまたはプレフィックスのみ]を指定してください。

6. SIPとRTPともにDSCP値を指定する場合はプロトコルを[TCPとUDP]、DSCP値を変更するパケットの宛先ポートを限定する場合は[次の宛先ポート番号か範囲]を選択し、ポートの例、ポート範囲の例に従い入力し「完了」をクリックします。

ポリシー ベースの QoS

プロトコルとポート番号を指定してください。
QoS ポリシーは、特定のプロトコル、発信元ポート番号または範囲、宛先ポート番号または範囲を使用する出力方向のトラフィックに適用できます。

この QoS ポリシーを適用するプロトコルを選択してください(S):

TCP

発信元ポート番号を指定してください:

☒ 任意の発信元ポート(F)

☐ 次の発信元ポート番号か範囲(R):

ポートの例: 443
ポート範囲の例: 137:139

宛先ポート番号を指定してください:

☒ 任意の宛先ポート(T)

☐ 次の宛先ポート番号か範囲(O):

[QoS ポリシーの詳細を表示します](#)

< 戻る(B)

完了

キャンセル

10. お問い合わせ先

株式会社ageet(アギート)の サポートセンター <https://www.ageet.com/contact> までお願いいたします。お電話でのサポートは受け付けておりませんので予めご了承くださいませ。
また、動作報告など情報を募集しております。他にもこのような使い方があるなど、便利な情報をお寄せください。ブログなどでの紹介も大歓迎です。



開発元:株式会社 ageet(アギート)
〒617-0002 京都府向日市寺戸町修理式13-98